

公益社団法人岐阜青年会議所

2015年度2月公開例会 青年経済人フォーラム



株式会社パン・アキモト 代表取締役

秋元 義彦 氏

パンの缶詰で世界中を笑顔に

可能性は無限大

私が諦めない理由

2015年 2月16日(月)

受付/18:30

開会/19:00 閉会/20:30

会場/じゅうろくプラザ ホール

定員
600名

入場
無料

詳しくはホームページにて

岐阜JC

検索

お問い合わせ

公益社団法人 岐阜青年会議所 事務局
岐阜県岐阜市神田町2-2 (岐阜商工会議所ビル内)
TEL: 058-264-8091
受付時間/10:00~12:00, 13:00~17:00
(土、日、祝日除く)

<http://www.gifujc.or.jp>

Eメールはコチラ ▶ gifuyc@ccom.or.jp



公益社団法人岐阜青年会議所

2015年度2月公開例会 青年経済人フォーラム

秋元義彦氏は、多くの努力と試行錯誤を重ねた結果、それまでなかった保存性とおいしさを兼ね備えた「パンの缶詰」の商品化に成功し、多くの被災者においしいパンで笑顔を届けた。また、その「パンの缶詰」を用いた「救缶鳥プロジェクト」は、ビジネスと社会貢献の両立を果たし、継続的かつ世界規模での社会貢献を可能にする画期的な保存食リユースシステムとして、高く評価されるに至っている。



株式会社パン・アキモト 代表取締役
秋元 義彦（あきもと よしひこ）氏

【講師プロフィール】

1953年栃木県生まれ。世界初の長期保存可能な「パンの缶詰」を開発した株式会社パン・アキモトの代表取締役。1976年法政大学経営学部卒業後、東京都杉並区のパン屋へ見習い丁稚奉公として2年間の修行の後、1978年有限会社秋元ベーカリー（当時）に入社。1996年株式会社パン・アキモト代表取締役就任。1995年の阪神・淡路大震災直後、トラック1台分約2,000食の焼きたてのパンを神戸の教会へトラックを走らせ「乾パンのように保存でき、ふっくらとしたパンをつくってほしい」という被災者の切実な声に応えるため、世界初の長期保存可能な「パンの缶詰」の開発に成功する。

メディア出演：カンブリア宮殿、ガイアの夜明け、その他多数。

【株式会社パン・アキモトについて】

所在地：栃木県那須塩原市東小屋295-4

沿革：1947年12月 秋元パン店開店
1965年10月 会社設立（有）秋元ベーカリー
1988年9月 本社工場建設
1995年春 「パンの缶詰」開発
2000年10月 （株）パン・アキモトに社名変更
2004年7月 東京事務所開設
2005年7月 沖縄工場操業
2007年2月 米国衛生局認定工場（沖縄工場）
2009年3月 ディスカバリー号に掲載され「パンの缶詰」宇宙へ
2009年9月 「救缶鳥プロジェクト」始動
2013年5月 関西営業所開設
2014年6月 石窯パン工房・きらむぎ オープン

受賞歴他：1974年1月 栃木県学校給食会会長賞 受賞
栃木県教育委員会会長賞 受賞
1998年7月 「パンの缶詰」中国で特許取得
2000年4月 「パンの缶詰」日本・米国・台湾で特許取得
2005年12月 日本経済新聞社社長賞（優良食品店部門）受賞
2006年3月 ちいき経済賞「クリエイティブ活力賞」受賞
2007年2月 米軍販売許可「フードインスペクション」許可取得
2008年2月 安藤百福賞（発明発見奨励賞）受賞
2010年2月 「とちぎ産業活力大賞」優秀賞 受賞
2011年2月 「中小企業庁長官賞」受賞
2011年8月 経済産業大臣「東日本大震災被災地域の復旧・復興に向け貢献された企業」表彰
2014年3月 「日本で一番大切にしたい会社」大賞 審査委員会特別賞 受賞

■会場

じゅうろくプラザ ホール

岐阜市橋本町1丁目10番地11

交通のご案内

- JR 岐阜駅隣接 徒歩約2分
- 名鉄岐阜駅より 徒歩約7分
- 岐阜各務原ICより 車約15分
- 岐阜羽島ICより 車約20分

駐車場の案内

有料駐車場58台収容。ただし、一部の車種についてはスペースの関係上お断りする場合があります。満車の際は近隣の有料駐車場をご利用下さい。



公益社団法人岐阜青年会議所とは

岐阜市を中心とした地域において「明るい豊かな社会」の実現を目指し、「ひとづくり・まちづくり」運動を展開する青年経済人の団体です。メンバーは社会に貢献する活動を企画・実行していくプロセスを通じて、様々なことを経験し、青年経済人としての資質向上を図っております。また、岐阜市近郊の青年経済人に関しても、公開例会等を通じて資質向上の場を提供しております。



自然と産業とコミュニティの
共生都市 ぎふ
～世界に誇れるひとの和～